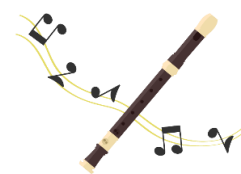


第4学年 音楽科

まつさかしりつだいよんしょうがっこう
松阪市立第四小学校



【学習目標】

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよ
うとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学生の音楽4」	(教育芸術社)
副教材		

持ち物		
教科書	ファイル	筆箱 下敷き タブレット
鍵盤ハーモニカ	リコーダー	

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

ぜん 期 前	こう 期 後
1. 音楽で心の輪を広げよう 2. 歌声のひびきを感じ取ろう 3. いろいろなリズムを感じ取ろう 4. ちいきにつたわる音楽に親しもう 5. せんりつのとくちょうを感じ取ろう	6. せんりつのかさをかんじ取ろう 7. いろいろな音のひびきを感じ取ろう 8. 日本の音楽でつながろう 9. 思いを音楽で表そう ※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習の順序を変える場合があります。

【評価の観点および場面・方法】

	ひょうか かんてん 評価の観点	ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
技能 知識	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき表したい音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき表したい音楽表現をするために必要な器楽や音楽づくりの技能を身に付けている。	授業の様子 歌のテスト 楽器のテスト
思考 表現 判断	音楽表現について思いや意図をもち、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いている。	授業の様子 発言・発表 鑑賞のワークシート
主体的に 取り組む 態度	進んで音楽に親しみ、活動を楽しみながら、協働して表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	授業の様子 発言・発表 ふり返り